

大分西部森林管理署交渉（全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 令和5年6月28日（水） 17：15～18：15（60分）

2 場 所 大分西部森林管理署 会議室

3 出席者：

大分西部森林管理署	平井 郁明	署長
同	古澤 竜喜	次長
同	浅尾 純治	総括事務管理官
全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会	橋本 賢一	委員長
同	中山 俊和	副委員長
同	蒲池 勝也	書記長
同	井上 和也	執行委員
同	稲員 友樹	執行委員

4 交渉事項

- （1）要員不足・労働過重となっている職場実態
- （2）収穫量等各種計画について
- （3）労働安全衛生について

5 議事概要

- （1）要員不足・労働過重となっている職場実態
（職員団体）

当署において現在空きポストがいくつかあり、1、2級の職員が森林整備官等の業務を行っている現状である。彼らをカバーするためグループを超えた応援態勢も職員の負担となっている状況。さらに休職者や退職予定者の仕事も負担増となると考える。

超過勤務及び年休取得に対しても、課題を抱えている担当者は超過勤務が多く、年休取得が出来ず、このような異常な要員不足をどのように考えているのか。

特定の職員に業務が偏り負担増とならないようサポート体制や非常勤職員の活用など十分な配慮を求める。

また、サービス残業とならないよう適正な超勤命令と定時で退庁出来るような雰囲気づくりや年次休暇の取得しやすい環境づくりを、署長がリーダーシップをとり進めてもらいたい。

(当局)

現在、署では事務管理官(経理)、森林整備官(土木)、森林官が空席ポストとなっており、さらに野生鳥獣対策官が退職による空席となる。早急に空席ポストの解消を行っていく必要があると認識しており、階級に見合った要員の配置について、機会ある毎に上局に解消を要望しているところ。一部の職員が超過勤務増とならないよう事務・業務の軽減に向けた改善を進め、非常勤職員の活用を含めた応援体制を図りつつ参りたい。

また、職員が定時で退庁出来るような職場の雰囲気づくり、年次休暇を取得しやすい環境づくりに署長がリーダーシップを発揮し取り組んで参りたい。

(2) 収穫量等各種計画について

(職員団体)

伐採系森林整備【活用型】等の当署生産量について、署の管轄する面積は小さいわりに生産量が多く職員へ負担が大きい。今後も毎年生産量の上乗せが続くと思うが確保できるのか。

(当局)

生産量の確保や収入確保が大変厳しい状況になってきていると認識しており、事業を進めていく上で、職員に対して過大な負担にならないよう応援体制を図り、山づくりを行っていきたいと考えている。

(3) 労働安全衛生について

(職員団体)

安全作業を心がけるため職員に対してどのような取組をしているのか。

また、心の健康づくりについてのどのような取組をしているのか。

(当局)

職員の安全確保は人命尊重の観点から極めて重要であり、また、事業の円滑な運営にとって不可欠な条件であると考えている。このため、重大災害はもとより、災害の未然防止に万全を期すべく各種の災害防止対策の推進に取り組む考えである。

具体的には当署における「健康安全管理計画書」や「3号通達」等に基づき、確実に実施するとともに、管理者がリーダーシップを発揮し職員の安全確保に取り組むことが重要と考える。

また、職員がいつでも心とからだ健康であることは、公務災害の防止、効率的な業務運営につながるだけでなく、職場の活性化や家庭生活においても特に重要なものであると考えている。職員の負担を少しでも少なくなるよう職場環境の整備を行い要員確保を要請してまいる。また、いつでも余裕を持って目配りや職場の環境整備に努めて参りたい。

(以 上)